

近年、市販の総菜を日常の食事に取り入れる家庭が増加しており、その活用は現代の食生活における大きなテーマとなっている。市販惣菜には、調理負担軽減や多様なメニューが手軽に入手できるといった利点がある一方、食塩・脂質の過剰、栄養バランスの偏りといった課題も含まれる。

このようなテーマについて、栄養学を学ぶ立場からメリットとデメリット、市販惣菜が家庭の食卓に出されることについて考えることにより、食と健康への興味・関心および栄養学の基礎的理解（短大 AP1）を問うものである。

以上より、この小論文問題は、食物栄養学科での学びに不可欠な「食への関心」「栄養学の基礎理解」「論理的思考」「表現力」「学び続ける姿勢」が備わっているかを多面的に評価することを意図して出題したものである。